

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年7月3日

【評価実施概要】

事業所番号	0175700277		
法人名	有限会社 ビバグループ		
事業所名	グループホーム ビバ美園		
所在地	北海道岩見沢市美園6条6丁目26番地 (電話) 0126-24-6331		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成20年7月2日	評価確定日	平成20年7月18日

【情報提供票より】(平成19年12月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	25 人	常勤	11人, 非常勤 14人, 常勤換算 13人

(2) 建物概要

建物構造	木造2階準耐火 造り		
	2階建ての 1~2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	26,500 円	その他の経費(月額)	12,000~17,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 840 円		

(4) 利用者の概要(12月20日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	3 名	要介護2	9 名		
要介護3	2 名	要介護4	4 名		
要介護5	要支援2				
年齢	平均 81 歳	最低	71 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	竹内内科循環器科医院、竹内歯科クリニック、岩見沢脳神経外科
---------	-------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

岩見沢市のほぼ中心部に位置し、交通の利便性が良く閑静な住宅街に開設されている家庭的雰囲気を大事にしているグループホームです。リビングからは中庭のテラスに出られテーブルや椅子が配置され外気に触れながら利用者同士仲良く談笑したり、ひとりになって過ごせる空間や気分転換のための昼食、焼肉パーティなどにも利用されています。職員は、皆明るく穏やかで利用者と馴染みの関係を築き、日々ケアサービスの質の向上に研鑽されている様子が伺えました。また、日常生活の中で、身体機能が維持・向上できるような取り組みや調理や味付けなどの食事の準備など職員が学んだり、共に支えあう関係が築かれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、行政とのさらなる連携について挙げられていましたが、運営推進会議への市担当者の参加で意見交換や助言など行われていたり、消防署の協力を得て火災避難訓練などを実施するなど行政との連携の重要性を理解した取り組みが実施されています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、全ての職員が参加して自己評価が実施され改善点を自ら見出す取り組みが行われています。また、外部評価の結果については、運営推進会議でも報告され、そこでの意見が運営に反映されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、本年度 評価日現在1回実施され議題は 火災避難訓練の実施結果について ホーム主催の行事予定について 行事实施の報告について グループホームへの要望について 利用状況並びにその他報告について
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 利用者と家族の関係を大切に考えて、利用料金を毎月持参戴くような取り組みで意見や要望、不安への対応など家族と意見交換ができる機会を工夫しています。また、「ほこにこりぼーと」を定期的に発行して、利用者の日常の暮らしぶりや誕生会、宮島沼へのドライブ、花見などのホーム行事参加の様子など家族に情報を提供しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入して、花見や食事会、お祭り、資源ゴミ回収などの地域の行事参加や近隣への散歩や日々の食材の買物など日常生活を通じて地域との連携に取り組んでいます。また、焼肉パーティなどのホーム行事参加への案内や認知症ケアネットワークを通じて同業者との交流なども行われています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念達成のためにユニット毎に具体的に目標を設定して、その実践のために日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入して、花見や食事会、お祭り、資源ゴミ回収などの地域の行事参加や近隣への散歩や日々の食材の買物など日常生活を通じて地域との連携に取り組んでいる。また、焼肉パーティなどのホーム行事参加への案内や認知症ケアネットワークを通じて同業者との交流なども行われている。		今後、災害時など地域のボランティアなどの協力が得られやすいように、継続して地域との交流に努めていく計画がされています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を良く理解しており、全ての職員が参加して自己評価が実施され改善点を自ら見出す取り組みが行われている。また、外部評価の結果については、運営推進会議でも報告され、そこでの意見が運営に反映されている。		特筆すべき点として、経営者は地域のグループホーム協議会、認知症ケアネットワークなどの中心的な役割を担い、地域のケアサービスの質の向上に貢献している。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、本年度 評価日現在1回開催されている。メンバーは利用者、家族、町内会役員、岩見沢市担当者、運営者及び管理者・職員で構成され具体的に取組んでいる。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議への市担当者の参加で意見交換や助言など行われていたり、消防署の協力を得て火災避難訓練などを実施するなど行政との連携の重要性を理解した取り組みが実施されている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「ほこにこりぽーと」を定期的に発行して、利用者の日常の暮らしぶりや誕生会、宮島沼へのドライブ、花見などのホーム行事参加の様子など家族に情報を提供している。また、金銭出納についても毎月領収書とともに報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者と家族の関係を大切に考えて、利用料金を毎月持参戴くような取り組みで意見や要望、不安への対応など家族と意見交換ができる機会を工夫している。また、そこでの意見を運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は低く、馴染みの職員がケアを実践できるように取組んでいる。		特筆すべき点として、職員は、皆明るく穏やかで利用者と馴染みの関係を築き、日々ケアサービスの質の向上に研鑽されている様子が伺えました。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>認知症ケアネットワークやグループホーム連絡協議会で同業者との交流や研修が実践されている。また、研修参加後は、参加者のレポート提出や報告会でフォローアップされている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>認知症ケアネットワークなどで同業者との積極的な交流など行われ、相互訪問や新人研修会などを通じてケアサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>テラスには、テーブルや椅子が配置され外気に触れながら利用者同士仲良く談笑したり、ひとりになって過ごせる空間が工夫されている。また、入居前には、本人が安心して納得したサービスを利用するために利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者と一緒に調理や味付けなど、職員が学んだり、共に支えあう関係が築かれている。また、生活歴を把握して、本人の思いや意向を尊重した取り組みが実践されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用者一人ひとりの生活歴や思いを職員間で共有して、近隣への散歩や日々の食材の買い物、花見や紅葉見物など外出の機会を作り、本人の希望や意向を尊重した取り組みがされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護支援専門員の適切な監理のもとに、モニタリングやカンファレンスが実施され、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報を取り入れ具体的な介護計画となっている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	介護計画書は、定期的に見直しが行われ、利用者・家族の要望や利用者の状態変化に応じて都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。また、バイタルチェック、水分・食事摂取量、排泄、排尿など具体的な個別の介護記録となっていて、それらが家族に開示されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、通院への支援や散歩、買い物、花見などの外出が柔軟に行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族が希望する主治医との連携で医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望、状態変化などについても医師の往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、主治医と相談しながら職員間で共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法に対応した、個人情報の取り扱いが行われている。また、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重して、散歩や買い物、調理や野外(テラス)での昼食、レクリエーションや趣味への支援など行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が本人の希望や力量に応じて、一緒になって楽しんで調理や味付けなど行われている。また、食事は美味しく和やかな家庭的雰囲気有していました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外は、利用者の希望や意向に応じて支援している。また、拒否の強い方には、個々に合わせた声かけやタイミングに応じた支援がされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴や力を活かして、調理や食事の準備・後片付け、畑作業、掃除、買い物など楽しみごとや気分転換の支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	開拓村へのバスツアーやあやめ公園、バラ園、花見などのドライブ、買い物や散歩などの取り組みやテラスで外気浴ができて気分転換がはかれるように工夫された支援が実践されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は鍵をかけない取り組みが実践されている。また、ヒヤリ・ハットの取り組みで安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署に協力を得て、緊急時に全ての職員が速やかに対応できるように利用者と共に実技を伴う火災避難訓練や救急救命訓練が年2回実施されている。</p>		<p>緊急時の2階からの避難方法について、非常階段の変更を含めた真剣な検討が行われている。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>具体的な水分・食事摂取量が記録され個々に応じた対応が行われている。また、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され支援されている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日中、気候に応じて換気され利用者にとって気になる臭いや音の大きさは感じられない。また、リビングから外（テラス）に出られ、椅子やテーブルが配置され一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保され日光浴や季節感、気分転換ができるように工夫がされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には、仏壇や使い慣れた家具、家族の写真などが飾られ安心して過ごせる場となっている。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。